

せいかつか&そうごう

第 10 号
2003

本学会のさらなる充実・発展を願って

愛知教育大学 布谷光俊



本学会の諸事業も、代々の会長先生以下役員諸先達の方々や各県支部学会員の皆様方の熱い思いと献身的なご尽力のお蔭で、年々充実と発展を重ねてまいりました。例えば、今年度（昨年6月22～23日）茨城で盛大に開催の本学会年次大会は第11回大会を、この学会誌刊行も本号で第10号を数えることになりました。

この間、本年度から完全実施の「総合的な学習の時間」も生活科の発展的な学習領域として本学会の研究対象や事業内容に含めることとし、平成12年度から現在の学会名、学会誌名等に変更。今では全国から約800名の方々が、それも実践・研究の両関係者が共に誘い合って本学会に加入され、互いに提案し合い、示唆を受け合い、大いに研鑽を深め合っていました。微力な小生も、とりわけこの学会で諸先達から種々学ばせていただき、育ててもらった一人だと思っております。であれば、本学会のこうしたよき特徴や既成果を大切に継承しながら、さらなる充実・発展のために裏方の仕事に努めることが、私たち役員に課せられた任務だと思っております。

幸いにも今年度から新たな学会事業が二つ加わりました。一つは、毎年度開催の年次大会とは別の単独事業としてシンポジウムやワークショップなどを開催すること、もう一つは、本学会に研究奨励賞を設け、将来有望な学会員を対象に毎年これを授与することです。本号が刊行される頃には、いずれの事業も予定通り具体化されていることと思いますが、前者は、毎年秋ごろを目途に、生活科や総合的な学習、さらにはこれらを含めた学校教育そのものにかかわる話題のテーマ、緊要のテーマ等でシンポジウムやワークショップを開催（今年度は去る11月23日、立教大学で開催）し、本学会の一層の活性化と機動力の向上、学会外部への社会的貢献等に寄与するものになるであろうし、後者は、毎年度の年次大会や本学会誌上等で優秀な研究成果を発表された将来有望な学会員（実践・理論の両部門から毎年各1名ずつ）に研究奨励賞を授与し、当人の研究奨励はもちろんのこと、若手学会員の励みや更なる人材育成、学会諸事業の質的向上等にも大いに寄与するものになるであろうと考えています。

いずれも、今年度茨城で開催の本学会第11回大会の総会で承認された事業です。これらの新事業が、これまでの諸事業と相呼応して功を奏し、本学会が、我が国の子どもの豊かな学びや育ちの実現のために益々充実・発展することを心より願う一人であります。

目 次

| | | |
|---------------------|------|---|
| ◆ 本学会のさらなる充実・発展を願って | 布谷光俊 | 1 |
|---------------------|------|---|

特 集 Ⅰ 生活科・総合的学習のカリキュラムづくり

| | | |
|---|------------------------|----|
| ◆ 生活科の授業から始めるカリキュラムづくり | 無藤 隆 | 4 |
| ◆ 総合的な学習におけるカリキュラムの編み直し —「0次案」から「n次案」の構築— | 小林宏己 | 12 |
| ◆ 子どもの生き生きとした姿が見られる生活科をめざして —おや?わくわく!もっと!!でつながる年間指導計画— | 三堀 仁 | 20 |
| ◆ 自分を見つめ、自分に気づき、自分を変えるカリキュラムづくり —単元「君は社長だ! 一流企業を作ろう」の学習を通して— | 遠藤啓一・藤岡幸重 加藤玲子・武藤伸一 | 28 |
| ◆ 1年 Webbing 学習「出会いを求めて」 —一人一人の願いや思いを大切にしたいカリキュラムづくり— | 小川倫子 | 36 |

特 集 Ⅱ 生活科・総合的学習の評価の考え方と方法

| | | |
|--|------|----|
| ◆ 生活科における学習の成立と評価 | 嶋野道弘 | 46 |
| ◆ 総合的な学習における指導と評価の一体化、自己学習能力の向上 及び外部への説明責任に向けた評価の実践 | 高浦勝義 | 54 |
| ◆ 指導と評価の一体化をめざして —表現活動を通じた実践— | 小川聖子 | 62 |
| ◆ 生活科の評価基準作成の意図とその考案 —「みんなの桜台・栄町 大はっけん」の事例をとおして— | 寺崎千秋 | 70 |
| ◆ 子どもの学び方と育ちを見取る | 廣田 始 | 78 |

自由稿

- ◆生活科の影響性に関する事例研究……………栗原敏枝・若手三喜雄 86
— 移行期の授業者の考察を含めて —
林信二郎

- ◆セルフ・エスティーム (self-esteem) を育む「総合的な学習」の実践的研究……………平田尚恵 94

- ◆感じる出会いの活動と課題づくり……………小野間正巳・太田 充 104
— 自然や人と共に過ごす授業実践から探る —

私の授業づくり

- ◆体験を生かし、たくましく生きる力を育てる「総合的な学習の時間」のあり方……………小島 睦 112
— つくば市立九重小学校 第4学年『みつけよう！わたしたちにできること』の実践より —

- ◆よりよい自分を実現しようとする子どもをめざして……………圓尾康子 116
— 第3学年『ひみつがいっぱい 三の丸のお店』～見たい！聞きたい！伝えたい！～の実践より —

| | |
|------------------------|-----|
| 日本生活科・総合的学習教育学会会則…………… | 120 |
| 学会だより…………… | 121 |
| 学会誌編集委員会投稿及び編集規定…………… | 123 |
| 編集後記…………… | 124 |

表紙写真：「みんな集まれ、生きものだいさくせん
(花だんを作るために石をほるんだ)」

写真提供：神奈川県小田原市立大窪小学校